2026 年 11 月 19 日
一般社団法人日本損害保険協会　北海道支部

2025 年度水道凍結事故による保険金支払状況の調査結果を公表

急な寒波の前や長期に家を留守にする際は「水抜き」をお忘れなく!!

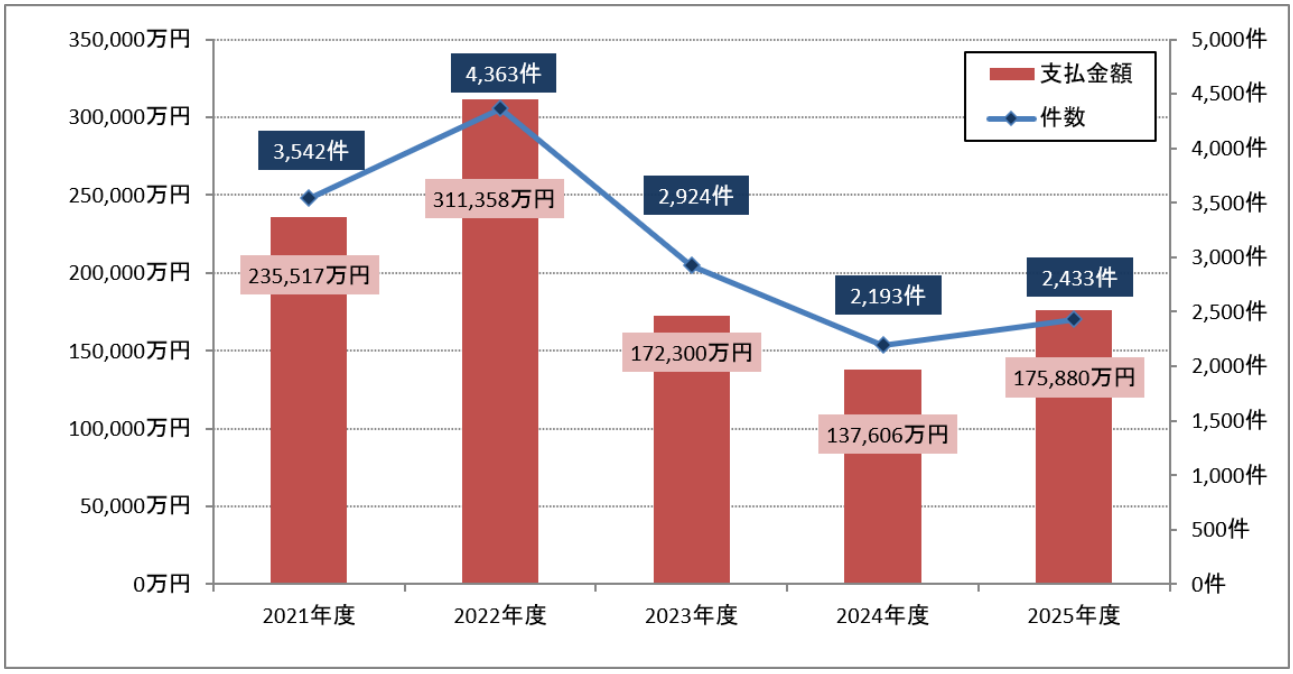
日本損害保険協会北海道支部(委員長：河村 周・損害保険ジャパン株式会社 執行役員)は、2025 年 12 月～2026 年 3 月の水道凍結事故による保険金支払状況の調査結果を公表しました。

同期間における保険金の支払件数は 2,433 件、支払額は 17 億 5,880 万円となりました。2025 年から 2026 年の冬は平均気温が平年より高く暖冬傾向であった一方、寒気の影響を受ける時期もあり、水道管凍結事故は依然として多発しています。

外気温がマイナス 4℃以下になるときや一日中氷点下の真冬日が続いたとき、就寝前や旅行・帰省などで長時間水道を使用しないときには特に注意が必要です。暖冬であっても警戒を緩めず、急な寒波の前や長期に家を留守にする際は「水抜き」を忘れずに行いましょう。

当支部では札幌市水道局と連携して、水道管の凍結防止に有効な「水抜き」の方法等を紹介するチラシ・ポスターを作成しており、大学生協や消費者協会等に提供し、事故防止を呼びかけています。今後も関係団体と連携し、水道管凍結事故を防止する啓発活動を推進してまいります。

■2021 年度～2025 年度冬期の水道凍結事故による保険金支払状況調査結果



■水道管凍結事故防止啓発チラシ





＊下記 URL からチラシ（PDF）をダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2026/pdf/2611_chirashi.pdf